

ISM ラベルの表示許可に関する規則

平成 8 年 3 月 26 日制定
平成 8 年 1 2 月 1 1 日改正
平成 9 年 1 2 月 2 2 日改正
平成 1 1 年 1 月 2 6 日改正
平成 1 7 年 8 月 3 日改正
平成 1 8 年 1 2 月 1 9 日改正
平成 2 1 年 7 月 2 2 日改正

(目 的)

第 1 条 本規則は、「ISM 壁紙運営規定」第 3 条 2 項に定める「ISM ラベルの表示許可に関する業務」について、必要な事項を定めたものである。

(ISM ラベルの表示資格)

第 2 条 ISM ラベルの表示は、次の要件を満たす一般社団法人日本壁装協会（以下「協会」という。）の正会員（正会員を代理人とする外国メーカーを含む）にのみ認められる。

- (1) 壁紙の製造を事業として営むもの。
- (2) 製造設備を有すること。
- (3) 本規則に定める審査に合格し、ISM 表示工場として協会に登録されること。
登録は工場を対象とする。

(許可の条件)

第 3 条 ISM 表示工場は、次の項目について条件を付けることなく従わねばならない。

- (1) 人の生命・身体または財産を損なうことのないよう原材料・作業環境・製品について十分な配慮が為された完成品であって、別に定める「壁紙の環境技術基準」に適合した壁紙を製造できること。
- (2) 試験方法あるいは規格・基準値等が変更された場合は、ISM 機構の指示に従うこと。
- (3) 壁紙の構成に使用する化学製品（単一物質又は混合物）の化学物質等安全性データシート（MSDS）の保管管理が確実になされること。
- (4) 構成(組成)成分の表示を行うこと。
- (5) 正当な理由なく、ISM 機構が実施する立入り検査を拒まないこと。
- (6) ISO 9000s、ISO 14000s または JIS Q 9001 の認証を受けているもしくは JIS 表示許可工場であること。
- (7) JIS 表示許可工場の場合は、社内の品質管理システムが ISO 9000s または JIS Q 9001 に基づいて構築・運用されていること。

(申 請)

第 4 条 ISM 表示工場登録は、以下の図書に申請料を添えて品種別に協会に申請すること。

- (1) ISM 表示工場登録審査申請図書一式
(ISM 書式 1～8 号、または ISM.No.101～110)
- (2) 公的試験機関による試験成績書等
- (3) 品質管理マニュアル
- (4) 工場配置図
- (5) その他審査委員会が必要とする資料

(審 査)

第 5 条 審査は予備審査と本審査に分けられ、審査項目および評価基準は別表に定める。審査料については別途定める。

(1) 予備審査：ISM 機構による審査

書類審査：ISM 表示工場登録審査申請書、社内規格、公的試験機関による試験成績書等の審査

実地審査：社内規格の運用実態および生産設備の確認等

(2) 本審査：ISM 機構による審査

(提出図書等)

第 6 条 協会に提出した図書等については、理由の如何を問わず返却の請求ができない。

(ISM 表示工場登録)

第 7 条 協会は、審査の結果、登録が認められた ISM 表示工場を ISM 会員 A として登録し、ISM 登録証を発行する。

2 . 次の事項を登録原簿に記載する。

(1) 登録年月日

(2) 登録番号

(3) 工場名および所在地

(4) 代表者名

(5) 品種

(6) その他必要な事項

(登録の変更)

第 8 条 ISM 表示工場は、前項の登録事項および申請時に提出した書類等に変更が生じる場合、速やかに協会に届けなければならない。

(ISM 表示工場登録の失効)

第 9 条 以下のときは、ISM 表示工場登録が失効したものとする。

(1) ISM 壁紙の製造を廃止したとき

(2) 登録申請者が、協会の正会員を退会、または解散、廃業、倒産したとき

(3) 第 1 4 条 (6) により ISM 表示工場登録を取り消されたとき

(ISM ラベルの表示対象)

第 1 0 条 ISM ラベルの表示は、以下の壁紙にのみ認められる。

(1) 「壁紙の環境技術基準」および本規則に適合した壁紙

(2) ISM 壁紙商品群登録範囲に従い製造され、ISM 壁紙製品登録された壁紙

(3) ISM 壁紙品質情報管理システムに ISM 壁紙商品番号情報登録された壁紙

2 . ISM 壁紙商品群登録、ISM 壁紙製品登録については「ISM 壁紙製品登録規則」に定める。ISM 壁紙商品番号情報登録については「ISM 壁紙品質情報管理システムに関する規則」に定める。

（管理義務）

第 1 1 条 品質管理、性能保証は ISM 表示工場自身の責任において行われるものである。

（ 1 ） ISM 表示工場は、統計的品質管理が義務付けられ、工場における社内検査の記録を保存しなくてはならない。

（ 2 ） ISM 表示工場は、ISM 壁紙について、定められた範囲と頻度で性能確認を行わなくてはならない。

（ 3 ） ISM 機構および協会が必要ありとする場合、以下を実施することができる。

1) 工場における社内検査の記録の閲覧

2) ISM 表示工場の工場内もしくは流通市場からの試験体の抜き取り

3) 工場の点検

4) サーベランス

（再検査）

第 1 2 条 ISM 機構および協会が ISM 表示工場に対して行う検査において、本規則に反している事実が確認された場合は、再検査を行うものとする。なお、再検査においても不十分と見なされるときは、本規則の懲罰規定が適用される。

（検査費用）

第 1 3 条 第 1 2 条の再検査に要する費用は、被検査者が負担する。

（懲 罰）

第 1 4 条 ISM 機構および協会は、ISM 表示工場の ISM 壁紙の供給体制および性能について本規則および関連する規定類の条項に合格していないと判定した場合、また、故意による虚偽の申請があった場合、以下の措置をとるものとする。

（ 1 ）訓戒

（ 2 ）警告

（ 3 ）臨時の立ち入り検査の頻度を増やす

（ 4 ）ISM 壁紙製品登録の取り消し

（ 5 ）ISM 壁紙商品群登録の取り消し

（ 6 ）ISM ラベル表示の期限付停止

（ 7 ）ISM 表示工場登録取り消し

（信用回復措置）

第 1 5 条 前項によって処分を受けた ISM 表示工場は、ISM 機構および協会に対して損害の弁償および信用の回復について必要な処置をとらなければならない。

附 則

第 1 条 本規則に疑義が生じた場合は、ISM 機構の助言を受け、ISM 壁紙委員会が判断する。

第 2 条 本規則の改廃は、ISM 壁紙委員会の提案により、理事会が議決する。

第 3 条 本規則は平成 8 年 4 月 1 日より施行する。

第 4 条 本規則の改正は平成 2 1 年 7 月 2 2 日より施行する。